

## 議案

### 府中町地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について

デマンドタクシー「うぐいす号」で活用を予定している国庫補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)を取得するためには、1年間(令和6年10月～令和7年9月)の運行について公共交通協議会で評価を行う必要があります。1年間の運行について状況を共有し、課題などを出し合うことで今後の運行サービスの向上や、継続的な運行に繋げることを目的としています。

評価方法としては運輸局が示した書式を基に協議会で議論を行う形となっています。協議会事務局で提出案を作成していますので、それを基に意見をいただき今後の運行サービスの向上に繋げていきたいと考えています。いただいたご意見・ご指摘を基に書式を修正し、運輸局へ事業評価について報告いたします。

#### 書式

- ・2ページ:(別添1) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)
- ・3ページ:(別添1-2)事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について
- ・4～8ページ:(別添2)令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

※書式は昨年とほぼ同様です

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月26日

協議会名:府中町公共交通協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
広島第一交通株式会社	清水ヶ丘・桜ヶ丘地域デマンド型乗合タクシー「うぐいす号」	住民への周知・利用促進の取り組みとして、対象地域である清水ヶ丘・桜ヶ丘地域の町内会長への利用状況の定期的な報告や、チラシの配架(スーパー や病院)を行った。また、利用実態の把握の取り組みとして、デマンドタクシーへの試乗を行い、乗務員や利用者の方の意見聴取を行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	<p><b>【目標値】</b> 令和6年度(R5.10～R6.3)の実績を踏まえて設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者数 ・R7年度:4,550人</li> <li>②収益率 ・R7年度:14.0%</li> <li>③収支差 ・R7年度:5,000千円以下</li> <li>④公的資金投入額 ・R7年度:5,822千円以下</li> </ul> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①R7年度:5,146人</li> <li>②R7年度:15.8%</li> <li>③R7年度:4,891,700円</li> <li>④R7年度:5,808,400円</li> </ul> <p>すべての項目において、目標を達成した。</p>	利用者数については増加傾向にあり、地域への定着が図られている。それに伴い収益率、収支差、公的資金投入額についても、いずれも目標値を達成している。 引き続き、利用状況の分析や対象地域の町内会長との意見交換等により継続的な利用実態の把握などに取り組み、さらなる利便性向上や利用促進を検討する。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月26日

協議会名：	府中町公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

<b>地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)</b>	<p>府中町は広島県の中央部に位置し、面積は10.41km<sup>2</sup>、人口は51,155人(R2国勢調査)の都市である。府中町の地域公共交通ネットワークは、鉄道利用圏の都市間移動を担うJR(山陽本線・呉線、芸備線)のほか、町内の拠点や居住地と広島市中心部を連絡する幹線路線バス・準幹線路線バス(広島電鉄、広島バス、芸陽バス)があり、別に路線バスを補完することを目的に、町内の拠点と居住地を連絡する町内循環線のコミュニティバス「つばきバス」がある。</p> <p>地域内フィーダー系統の運行対象となっている清水ヶ丘・桜ヶ丘地域は町内北部の丘陵地帯に位置しており、昭和40年代に造成された住宅団地の一部である。最寄りの駅またはバス停までの距離や高低差があるほか、団地入口まで運行しているつばきバスについても、地域内の道路は幅員が狭く見通しも悪いため路線延長は困難な状況にあり、地域住民にとって外出機会減少の原因ともなっている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、令和元年11月に策定した府中町地域公共交通網形成計画では、町の地域公共交通ネットワークの現状に応じ、駅やバス停までの距離や高低差、地域公共交通ハンドブックやバスサービスハンドブック等の指針の基準を参考に公共交通不便地域等を設定し、これを解消・改善することを目標に掲げた。これに基づき、令和3年8月よりデマンド型交通の実証運行を実施、令和4年10月より本格運行に移行し、町内における交通不便地域の解消・改善を図っている。なお令和6年3月に府中町地域公共交通網形成計画を改訂し、府中町地域公共交通計画を策定しており、同計画へデマンド型交通の運行の位置付けに関して記載を追加した。</p>
-------------------------------------	--

# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

## 府中町公共交通協議会

### 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



#### 府中町の概要

- ・人口 51,155人  
(令和2年10月現在)
- ・面積 10.41km<sup>2</sup>

#### 府中町公共交通協議会の構成員

府中町 広島県 学識(広島工業大学) 広島東警察署 中国運輸局広島運輸支局  
広島電鉄(株) (一社)広島県タクシー協会(広島第一交通(株)) 西日本旅客鉄道(株)  
私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部 (福)府中町社会福祉協議会 府中町老人クラブ連合会  
府中町商工会 府中町学校PTA連絡協議会 府中町北部町内会連合会 府中町南部町内会連合会  
イオンモール広島府中

#### 概要

公共交通不便地域となっている清水ヶ丘・桜ヶ丘町内会地域において、住民の地域外への移動手段確保を目的に、府中町が広島第一交通(株)に運行を委託し、令和4(2022)年10月より運行を開始した予約制の乗合タクシー(デマンドタクシー(うぐいす号))。

清水ヶ丘・桜ヶ丘町内会地域の利用者の自宅と、町内の主要施設かつ交通結節拠点であるイオンモール広島府中などの6箇所ある共通乗降場所をドアツードアで結ぶ交通モードである。

#### 協議会の主な取り組み

- ・予約データや実態調査を元にデマンド型乗合タクシーの利用状況を把握し分析する。(事務局)
- ・交通事業者や地域との連携により利用実態やニーズの把握を行い、必要に応じて運行ダイヤやルートの改正を行う。(交通事業者、地域、事務局)
- ・対象地域の全世帯にチラシを配布するなど、周知・利 用促進を行う。(事務局)

など

#### 協議会における検討

##### 協議会の開催状況 2回開催

- ・第16回(6月25日) 令和8年度確保維持計画について協議
- ・第17回(12月18日) 令和7年度フィーダー事業評価を実施

# 府中町地域公共交通協議会 事業の評価

## 定量的な目標・効果

### 清水ヶ丘・桜ヶ丘地域デマンド運行

(目標)①利用者数: 4,550人

②収益率: 14.0%

③収支差: 5,000千円以下

④公的資金投入額: 5,822千円以下

(効果)当該デマンド運行の維持により、対象地域の高齢者等の移動手段を確保することができ、町内の公共交通不便地域を概ね解消することが可能。

## 昨年度の自己評価に対するフォローアップ

「継続的な利用実態の把握などに取り組み、さらなる利便性向上や利用促進を検討する」という点について、対象地域の町内会長との定期的な意見交換等や、事務局職員がデマンドタクシーに実際に乗車し、乗務員や利用者からの意見聴取を行う等、利用実態の把握に努めた。

## 昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

「引き続き関係者と連携協働を図り、より利便性の高い交通サービスが提供されることを期待します。」という点について、住民代表者や交通事業者等を交えた公共交通協議会において、公共交通の利用促進策の検討等を行った。  
また、今年度より、うぐいす号およびつばきバスの発着点となっているイオンモール広島府中が本協議会の構成員に加わった。

## 実施した利用促進策

- ・対象地域である清水ヶ丘・桜ヶ丘地域の町内会長に定期的に状況報告に伺い、利用者を増やすための意見交換等を行った。
- ・チラシの配架(スーパーや病院)を行った。

## 地域住民の意見の反映

- ・清水ヶ丘・桜ヶ丘地域の町内会長への定期的な状況報告の際に得られた意見や、町議会議員および公共交通協議会委員から得られた意見を基に、サービス向上や運行計画の見直しについて検討した。

# 府中町地域公共交通協議会 事業の評価

## 事業実施の適切性

- 清水ヶ丘・桜ヶ丘地域デマンド運行:計画どおり実施されている。
  - ・本格運行開始から3年が経過し、利用者数は順調に増加しており、地域への定着が図られている。

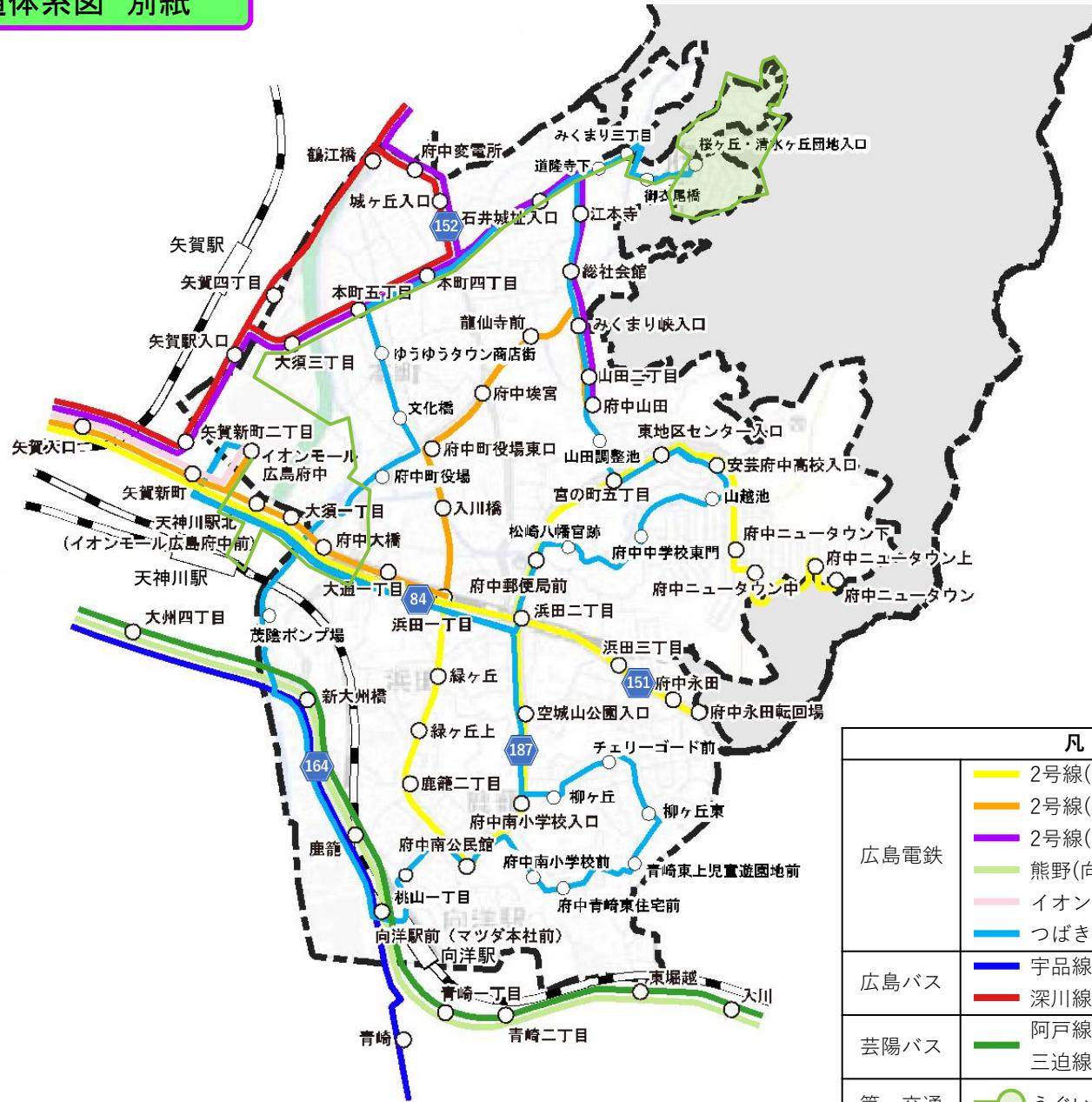
## 目標・効果達成状況

- 清水ヶ丘・桜ヶ丘地域デマンド運行:
  - (目標①)利用者数は5,146人となり、目標である4,550人を達成した。
  - (目標②)収益率は15.8%となり、目標である14.0%を達成した。
  - (目標③)収支差は4,891,700円となり、目標である5,000千円以下を達成した。
  - (目標④)公的資金投入額は5,808,400円となり、目標である5,822千円以下を達成した。

## 事業の今後の改善点

- 清水ヶ丘・桜ヶ丘地域デマンド運行:
  - ・利用者数については引き続き増加傾向にあり、地域への定着が図られてきている。
  - ・それに伴い収益率も目標値を上回っている。
  - ・引き続き、利用状況の分析や対象地域の町内会長との意見交換等により継続的な利用実態の把握などに取り組み、さらなる利便性向上や利用促進を検討する。

## 交通体系図 別紙



凡 例	
広島電鉄	2号線(永田・ニュータウン) 2号線(山田) 2号線(温品) 熊野(向洋)線 イオンモールシャトル つばきバス
広島バス	宇品線 深川線
芸陽バス	阿戸線、瀬野・広島線、南幸線、 三迫線、西条・広島線
第一交通	うぐいす号

## 運行系統図 別紙

系統名 清水ヶ丘・桜ヶ丘地域デマンド運行

運行形態 区域デマンド型

運行日・便数 平日:7便(8:00~18:50)、土曜日:6便(8:10~17:45)

運賃 通常200円、小学生または障害者及びその介助人は100円、小学生かつ障害者は50円、小学生未満は無料

